

# 竹灯籠と一万本の線香花火

今年の花火最終日は、竹灯籠と一万本の線香花火を開催いたします。

芝生広場一面を、約600本の竹灯籠が覆い尽くします。

その竹灯籠の灯りに包まれた幻想的な雰囲気の中で、今や大変貴重となった国産線香花火を楽しんでいただきます。

- 日時：平成29年8月27日(日) 17:00～  
先着2,000名に国産線香花火無料配布  
(プレイランド・メリーゴーラウンド奥のテント)  
19:30～竹灯籠点火  
20:15～線香花火タイム

●場所：園内 芝生広場

●参加料：無料 ※入園料は必要

※キリンとシマウマの展示を、19時までとさせていただきます。

※雨天・強風等の場合は、延期いたします。

延期の情報は、当日当園HPにてお知らせいたします。

<http://www.itozu-zoo.jp/>

今や国内で流通する線香花火のほとんどは中国製と言われています。現在、日本で線香花火を製造しているのは、わずか3社のみ。そのうちの1社が、今回ご協力いただいた『筒井時正玩具花火製造所』(福岡県みやま市)。1度は消えかけた「日本の線香花火」の技術と伝統を守り続けています。

今回ご用意する線香花火は『スポ手牡丹』。国内でこの花火を製造しているのは、『筒井時正玩具花火製造所』だけとのこと。ワラでできたこの線香花火。昔を懐かしく思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

## 森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所  
北九州市小倉北区上到津 4-1-8  
Tel 093-651-1895 〒803-0845  
<http://www.itozu-zoo.jp/>

# 森のお便り 8月号 2017年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」17年8月1日発行 通巻174号

## ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～

この夏も、「ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～」を開催します。

夜のジャングルを思わせる、幻想的にライトアップされた木々の間。暗闇に浮かび上がる動物たちの姿を、静かにのぞいてみてください。

8月の金曜日・土曜日・日曜日、

8/14(月)・8/15(火)は、21:00まで営業!

(通常は17:00閉園)

夏恒例の人気イベント、花火と音楽のコラボレーション「星降る花火ファンタジー」。

芝生広場で音楽にあわせてしかけ花火があります。

当日は夜9時まで開園。「ITOZU YORU ZOO ～夜の動物園～」の特別イベントもお楽しみいただけます。

■日時：8月19日(土)・20日(日)・26日(土)  
各日 20:30～20:45

■場所：園内 芝生広場

■観覧料：無料 ※入園料は必要

花火当日は、安全確保のため動物の展示は20時までとさせていただきます



# 花暦葉月

酷暑の続くある日「到津の森公園 市民ボランティア『森の仲間たち』里山ガイドグループ」に久しぶりにやって来たメンバーと、さっそく園内の野草を観察するために散策を始めました。

近郊に住み、女の細腕で一人先祖伝来の田を守っている彼女がまず一言「あらー、ここもブタナがたくさん増えたのねー。」さすが野草には敏感です。

私も答えます。「あーやっぱりそうか。」

盛夏ともなればさしもの剛健なセイヨウタンポポの花は減り、同じタンポポの仲間ではノゲンがよくみられたものですが、最近急にブタナがめだつなと感じていました。

ブタナは地面にへばりつくように葉が出て、50cm以上に伸びる細い花茎には葉がつきません。そのため草薺に紛れると葉に日が射さず栄養をつくれなくて繁茂とはいきません。

近頃街の空き地はよく草が刈られるようになりましたが、地際にへばりついた葉は刈り残されやすく、根も深い。

他の草が伸びる前に夏の日を十分に浴びてグングン成長してゆきます。

よく手入れされた斜面にブタナの群れ咲く姿は、大草原の様なさわやかな風情を醸し出してくれています。

是非こもれびの下に咲く花々を探検にいらしてくださいね。

## ☆ブタナ (キク科)

1930年代ヨーロッパからの外来種。北日本に多い。

☆アレルゲンとなるブタナとは別種。

☆管理棟2階に園内ブタナの写真パネルを展示しています。

文：花咲くおばさん

## 森のなかま・ニホンザル

またまた誕生！！

ヤギやキリン、ワオキツネザルにミーアキャット、マンドリルと次々に赤ちゃんが誕生している到津の森公園。

6月26日、ついにニホンザルにも赤ちゃんが誕生しました！現在はお母さんのリオちゃんにしがみついていることがほとんどですが、徐々によちよちと歩く姿も見られるようになってきました！！

今回が初出産だったリオちゃんも、最初は子どもを抱いて慣れない様子で歩いていたり、頭とお尻を逆さまにして抱いてしまったりと少し心配でしたが、今では立派なお母さんに成長しました！

動物たちは出産するとき、人間と違い母親が一人で子どもを取り上げて抱きかかえます。

人間とは違い助産婦の手を借りず、かなりの痛みや恐怖と闘ったことを想像すると、動物のお母さんは強いと思わずにはいられません。

そんなリオちゃん、出産前は警戒して近づいてくることも少なかったのですが、産後は子どもにも良いおっぱいをあげなくてはならないので餌を求めに子どもを連れて寄ってきます。

今後は子どもの成長も楽しみですが、リオちゃんもどんな母親に成長していくのか楽しみです。



飼育展示係 有川 瞭